

## 学校評議員会の実施報告書

ホームページへの掲載	
済・未	2月4日掲載予定

### 岐阜県立関特別支援学校

校長 佐藤 秀樹

学校住所 関市桐ヶ丘一丁目2番地

電話 (0575) 22-4238

- 1 会議の名称 岐阜県立関特別支援学校 学校評議員会
- 2 会議の構成 【 学校評議員 】
- |        |   |
|--------|---|
| 澤井 基光  | 関市社会福祉協議会会長 (欠席)                        |
| 沼田 明仁  | 四季ノ台自治会長                                |
| 岡田 泰子  | 中部学院大学短期大学部教授                           |
| 大野 美奈子 | 社会福祉法人平成会レインボーハートフル生活介護事業所<br>サービス管理責任者 |
| 中島 貴弘  | Man to Man Animo 株式会社プロジェクトマネージャー       |

【学校関係者評価委員】

原 紀子 PTA会長

【 学校職員 】

佐藤 秀樹	校長	田中久仁子	小学部主事
福富 茂美	教頭	堀 英男	中学部主事
林 英和	事務部長	上浦 清彦	高等部主事
		旭 秀織	教務主任

- 3 会議の目的 学校運営について地域住民や学識経験者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた活力ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成31年1月28日(月) 10:00~11:50  
岐阜県立関特別支援学校 小会議室  
会の内容(主な議題等)
- (1) 校長挨拶
  - (2) 平成30年度1年間の報告等について
  - (3) 卒業生の進路について
  - (4) 平成30年度の総括と反省(学校評価)について
  - (5) その他
  - (6) 学校給食試食会(ランチルームにて)

5 会議の概要

(1) 校長挨拶

本日は、授業参観はありませんが、各学部からの報告、アンケート調査の結果等から次年度に向けての方向性についてご意見をいただきたいと思ひます。

(2) 平成30年度1年間の報告等について

小学部、中学部、高等部、寄宿舎の取組の成果と課題

(3) 卒業生の進路について

- ・卒業生7人全員の進路先が決まっており、3年間、保護者とともに進路決定に向けて取り組んできた成果がでた。

(4) 平成30年度の総括と反省（学校評価について）

○ 学習活動・家庭や地域等との連携

<課題>

- ・病弱児童生徒への支援体制の構築
- ・ICTの活用実践の広報

○ 安心・安全な学校生活

<課題>

- ・職員や児童生徒一人一人の危機意識の向上
- ・児童生徒会活動や交流活動、寄宿舎の活動等のさらなる充実
- ・「性教育」や「がん教育」等の系統的な実施

○ キャリア教育

<課題>

- ・病弱（精神）の関係機関との連携
- ・個別の教育支援計画の保管と提供方法
- ・小学部・中学部・高等部を通じた一連の進路支援の構築

■意見1

- ・私たちの会社では、攻めるところ、守るところという2つの視点で反省をしている。この視点で関特別支援学校の活動を見ると、守るところでは、不審者対策や防災対策において、しっかりと取り組んでいる。これからも継続して行ってほしい。攻めるところでは、一貫したキャリア教育として、一人一人が考える力、選択肢を見付け自分で決められるような力を付ければ、一緒に仕事ができる方が出てくるのではないかと感じた。また、感覚に焦点をあてた活動にも取り組んでいるのを知ることができた。

■意見2

- ・生活介護では、情報共有、情報交換がすごく大切である。事業所の中で、情報をどう共有して同じ方向を見ていけるのかということで苦労している。ティーム・ティーチングということだが、どんなグループで、どれくらいの頻度で、どんな風に情報共有を進めているのか、会議として時間をとっているのかなどについて聞きたい。

□学校

- ・小学部は、教科担任ではなくクラス単位で活動するので、毎日放課後に細かい打合せを行っている。また、体調管理については、朝から、クラス・部で確認するようにしている。毎日の授業の様子等は、放課後にクラスで話し合いを行い、研究授業等の詳しい話し合いは、月2回の部研（研究）で集まって話をしている。小学部は、毎日話し合いながら進めている。中学部も同じような状況である。

□学校

- ・高等部は、類型中心で動く。打ち合わせは適宜行う。全体の部会は短い時間で済ませ、その後の類型会の時間を長く取るようにしている。それで17時までには終わるようにしている。必要な連絡は朝礼で行っている。朝礼は、全体の後に類型でも行っている。全体の会議を効率的に行うように心掛けている。また、パソコンのインフォメーションで情報伝達ができるため、活用している。舎については交代勤務であるため、できるだけ文字で残して引き継ぐようにしている。

### ■意見3

- ・多様化している生徒に合わせて、迅速かつ柔軟にベストなことは何かを考えられていて、PDCAサイクルが潤滑に回っていると感じた。「ふれあいまつり」に参加させてもらったとき、生徒のできることを的確に把握して実践しているという印象を受けた。今回、評価のところ、3つの視点でまとめられていたが、こういった視点が大事である。アンケートの作り方についても、こういった視点で作成し、力点を置きたいところでまとめていくことができるとより良いのではないかな。

### ■意見4

- ・FC岐阜とのコラボ等、外に出ていく機会を増やそうとしていて素晴らしいと思った。学校交流について、この地域の南ヶ丘小学校ともやられてはどうか。役員をやっているのだから橋になれる。

#### □学校

- ・この学校は、歴史の長い学校で、開校当時にあった学校との交流が続いている。南ヶ丘小学校にも話をしたことがあるが、中濃特別支援学校との交流があり、難しいということだった。

### ■意見5

- ・向山団地のボランティアの方との交流について、他の自治会との交流も考えてはどうだろうか。ボランティアに参加したいという人もみえるため、こういった形で学校とつながっていくと、その方たちの生きがい作りにもなる。そういった話を検討する時には役に立てるかもしれないので声を掛けてほしい。

### ■意見6

- ・地域の課題は地域でという考えのもと、地域委員会を開いている。これまではイベントをやっていく団体という色が強かったが、今後は事業という方向に目を向けている。日常的にできることで何か協力できることはないかと考えているので、また声をかけてもらいたいし、遠慮なく話してもらいたい。

### ■意見7

- ・普段、大人に頼って、大人と話すことが多い中で、同世代と普通に交流できるということは、とても素晴らしいことだと思う。卒業後のことを考えると、同世代と話す機会が多いことは、ありがたい。

(5) その他

(6) 学校給食試食（ランチルームにて実施）

## 6 会議のまとめ（学校長より）

新学習指導要領においても地域の人的、物的資源の活用ということが求められている。また、働き方改革の視点からも、いろいろな力を持っている方がみえる地域を活用させていただくことは、とても有意義なことである。当校としても活用に向けた取組を検討中である。

県のアクションプラン2018に示された中濃特別支援学校分教室と当校との今後の在り方については、本年度末までに県から方向性が示される予定である。このため、交流の在り方等も変わっていくことも予測される。

本日は、皆さんから貴重なご意見をいただくことができました。ありがとうございました。

※今回の学校評議員会の内容について、当校のホームページに掲載させていただくことを全出席者から了解を得た。